

千年の森便り No.263

2025.12.24

ちば千年の森をつくる会

<http://sfuku.cloudfree.jp/>

代表 福島成樹

sennennomori@hotmail.co.jp

活動の記録

12月1日（月）臨時活動日 天候 晴れ

ヒメコマツ観察会の下見のために、千葉県環境生活部自然保護課生物多様性センターの桐澤さんと鈴木さんが千年の森を訪れました。臨時活動として、千年広場近くと禁断の岬にあるヒメコマツ植栽試験地と豊英島をご案内し、成長しているヒメコマツの状況と、生物多様性保全をめざす森づくりの状況を見ていただきました。ヒメコマツ観察会は、1月18日（日）の年初めの活動日に合わせて開催される予定ですので会員の皆様のご協力をお願いします。

午後は、セブンイレブンの助成金で新たに購入したセンサーカメラ3台と、これまで別の場所に設置してあったセンサーカメラ1台の計4台を、獣害対策のために金属入りネットで補強した植生保護柵の周囲に設置しました。こ



ヒメコマツをバックに桐澤さんと鈴木さん

れで補強の効果が判断できると思います。

午後の作業中、頭上からカッ、カッ、カッという音、よく見るとアカゲラ（キツツキの仲間）がいました。参加者は生物多様性センター2名と福島の計3名、青空と紅葉がとてもきれいな1日でした。（福島）



対岸の紅葉



青空に紅葉が映える



オオカモメヅルの袋果



アカゲラ



新たに購入したセンサーカメラ（1）を設置



センサーカメラ（2）



センサーカメラ（3）



12月7日（日）天候 晴れ

12月は紅葉の時期に合わせて第1日曜日が活動日になっています。コナラの落葉が進み森は一段と明るくなって、青空をバックにオオモミジやイロハモミジの紅葉が目を楽しませてくれました。今回は、ニホンジカ生息状況調査、コナラ伐採地の草地部分の刈り払い、危険木伐採、ロープワーク研修、豊英島への進入路周辺の草刈りなどを行いました。また、欠席した坂本さんから、里芋や大根などたくさん野菜の差し入れをいただきました。ごちそうさまでした！

参加者は、秋元、伊藤、鶴沢、片野、竹下、成沢、福島の会員7名、晩秋の豊英島を楽しんだ一日でした。（福島）



〇ニホンジカ生息状況調査

豊英島では、ニホンジカの生息状況を把握するために3か月に1回調査を実施しています。調査方法は、島内を手分けして踏査し、発見したニホンジカを記録するというものです。いつものように、7コースに別れて島内を一斉に踏査してニホンジカを探しました。調査時間は10:10から約30分。結果は、ニホンジカ、キョンなどの姿、声、足音などの確認はありませんでした。センサーカメラには毎日のようにキョンが記録されていますが、もしかするとキョンは調査者をうまく避けているのかもしれない。(福島)



〇コナラ伐採地の刈り払い

コナラ伐採地の中の草地区域については、草地の植生を維持するために定期的に刈り払いを行っています。刈り払いには肩掛け式草刈機が大活躍しました。刈り取った草や枝は植生保護柵の外に搬出し、きれいさっぱりとしました。来年もこの場所で多種の草花が楽しめそうです。中高木区域については残したい植物の成長を妨げそうな木に赤いテープ、残したい植物(オオバウマノスズクサ等)に緑のテープをつけました。除伐の赤いテープの目印は多種の樹木保存のための準備作業です。また、この伐採地の脇には大きなアズキナシがあり、房状の赤い実が落ちて別の低木の枝にかかっていました。房状のため地面まで落ちずに別の木の枝にとどまっている姿は、まるで赤い実のつく別の木かと勘違いします。(秋元)



刈り払いを行う片野さん



低木にひっかかったアズキナシの実



刈り払いにより草原植生を維持



除伐の赤いテープ

〇ふかふかな落ち葉でいっぱい

島は落ち葉でいっぱいです。落葉樹の葉が粗方落ち、枝間から真っ青な空が望めます。なごりのモミジは、色づきもよく林床はふかふか状態、弾むように島内を歩くことができました。そんな中、明るくなった林床の落ち葉の間にいろいろな小さい実生が目にとまりました。モミ、スギはたくさん見ることができました。ツガ、ネズ、ヒノキは少なかったように思います。また、高さ80cmほどのモミにはしっかりとした冬芽がついていました。



青空にオオモミジの黄葉



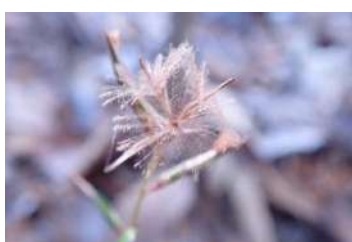
スギの実生



ネズ(ネズミサシ)の実生



ツガの実生



キッコウハグマの冠毛



干潟に出現したオブジェ



水鏡に映る対岸



ホテイ岬のカキ

先月まで開花しなかったキッコウハグマは、花序の先端に冠毛が付いていました。2番目、3番目の蕾はわずかですが冠毛のようなものが見えています。キッコウハグマは自己受粉のできる閉鎖花と昆虫等の助けで受粉する開放花の両方があるようです。開放花の株、開放花と閉鎖花の株、閉鎖花の株など様々なようです。この株は閉鎖花の可能性がります。白い開放花が見られなくて残念でした。ちょっと危険で観察しにくい島の北側斜面には数株あります。来年は安全を確保しつつ観察対象にして、開放花の株があるかどうか確認したいと思います。

ほてい岬の先端部には干潟が出現していました。例年は9月頃で今年はちょっと遅くなっています。めったに見られない干潟には柱のような立ち枯れた木やオブジェのような木があります。水鏡の水面には対岸の白い岩崖と紅葉が映り込み、この島随一の癒しスポットとなっています。今年はカキの実も確認することができました。サルや鳥はこれから食すのでしょうか、気になるところです。(秋元)



吊り橋から見た干潟



ヤブムラサキの実



サルトリイバラの実



アセビのつぼみ

○ナラ枯れ枯損木の伐採

今回は、島内に点在するナラ枯れ枯損木 6本の伐採を、成沢・竹下の2名で実施しました。健全木であれば「クサビ」(矢)を打ち込みながら伐倒方向をコントロールしますが、枯損木では矢を打つ衝撃そのものが落枝の原因になり得ます。そのため今回は、矢は鋸道を確保するための最小限にとどめ、伐倒方向の制御は牽引具「ブラロック 1000」を使用する方式を採用しました。ブラロック 1000は小型ながら、定格 200kgf、付属ロープの破断荷重約 2tを備えており、1名でも運搬・設置が容易です。必要に応じて動滑車を用いた倍力システムに接続することで、チルホールに匹敵するけん引力を得ることができ、今回のような枯損木の伐倒に適しています。

また、静音性の高い電動チェーンソーを使用したことで、作業中の意思疎通が非常にスムーズになりました。エンジン音に邪魔されることなく、追い口を切るタイミングと牽引を開始するタイミングを互いに確認し合えるため、安全性の向上という意味で非常に良かったと考えています。

伐倒作業で最も重要な「つる」(切り残し)の確保については、特に慎重を期しました。枯損木は内部の不朽が部分的に進行していることがあり、つるが保持できないと予想外の方向に倒れる危険があります。通常であればハンマーによる打音検査で内部の健全度を確認しますが、今回は衝撃を与えること自体が落枝リスクに直結するため、おが粉や匂いの変化も頼りにしながら内部の状態を判断しました。内部がしっかりした材を切った際には、酸っぱさと同様にキャラメルのような香ばしさがある、しっかりとしたおが粉が出て、妙な安心感があります(※匂いに関しては個人の感想です)。一方、不朽が進んだ部分では、軽くて粉っぽいキノコ臭を帯びたおが屑が出てくるため、こうした変化を敏感に捉えながら、つるの残し方や切り進める量を微調整しました。

島内にはまだナラ枯れによる枯損木が残っているため、引き続き安全第一で対応していきます。

ご安全に！そして、よいお年を！！(成沢・竹下)



牽引用のロープを設置



滑車とブラロックの位置を検討



受け口、追い口は慎重に



伐採後に伐根のチェック

〇ロープワーク研修

日頃、それほど使う頻度はありませんが、知っていればいざという時に役立つのがロープワークです。昼ご飯を食べたあと、次の作業に入るまでの時間にロープワーク研修を行いました。今年の研修は、欲張らずに、ティンバーヒッチ（ねじ結び）、ボーラインノット（もやい結び）、シートバンド（一重継ぎ）、スクエアノット（本結び）の4種類にしました。練習して全員が4種類の結び方を覚えましたが、ロープワークは繰り返し練習しないとすぐに忘れてしまうので、思い出したら時々は練習してくださいね。（福島）



〇進入路の草刈り

千年の森への進入路は、かつては数軒の農家と当会が利用者でした。その頃は農家の方が定期的に草刈りをしてくれたので、当会はたまにお手伝いをする程度でした。ただ数年前に農家の利用がなくなり、私たちが路肩の草刈りをしないと車の通行にも支障が出かねない状況となり、欠かせない作業になりました。今回は、坂本さんが中心になってかなり丁寧に草刈りを行ったので、今回はその後に大きく成長したススキの株を中心に刈りました。年数回しか刈払い機を持たない私の虎刈り作業ですが、多少なりともさっぱりして新年を迎えられそうです。（伊藤）

〇次回の定例活動は1月18日（日）です。

2026年最初の活動日なので、いつものように全員で祠山にお参りしてから活動を始めます。

コナラ伐採地の除伐、植生保護柵の補修を予定しています。

また、生物多様性センターによるヒメコマツ観察会が予定されていますので、その対応も行います。

ご参加をよろしくお願いいたします。

参加の際は、ダニ対策とヘルメット着用を忘れずに。

集合場所が、房総クロスヴィレッジに変更になりましたのでご注意ください。

<https://maps.app.goo.gl/hFKVg4mXncQZJuyU6>

(35.218558228172604, 140.02542152712238)

以前の集合場所から豊英島方向に進み国道から左に入ったところです。

集合は9:30です。お間違いのないように！



房総クロスヴィレッジ（旧三島小学校）

セブン-イレブン記念財団

この活動は一般財団法人セブン-イレブン記念財団の助成を受けて実施しています



良いお年をお迎えください

